

講演会 I

女王・卑弥呼が使った器たち

日時 3月17日[土]13時30分～15時

講師 石野博信 Hironobu Ishino

／兵庫県立考古博物館名誉館長

講演会 II

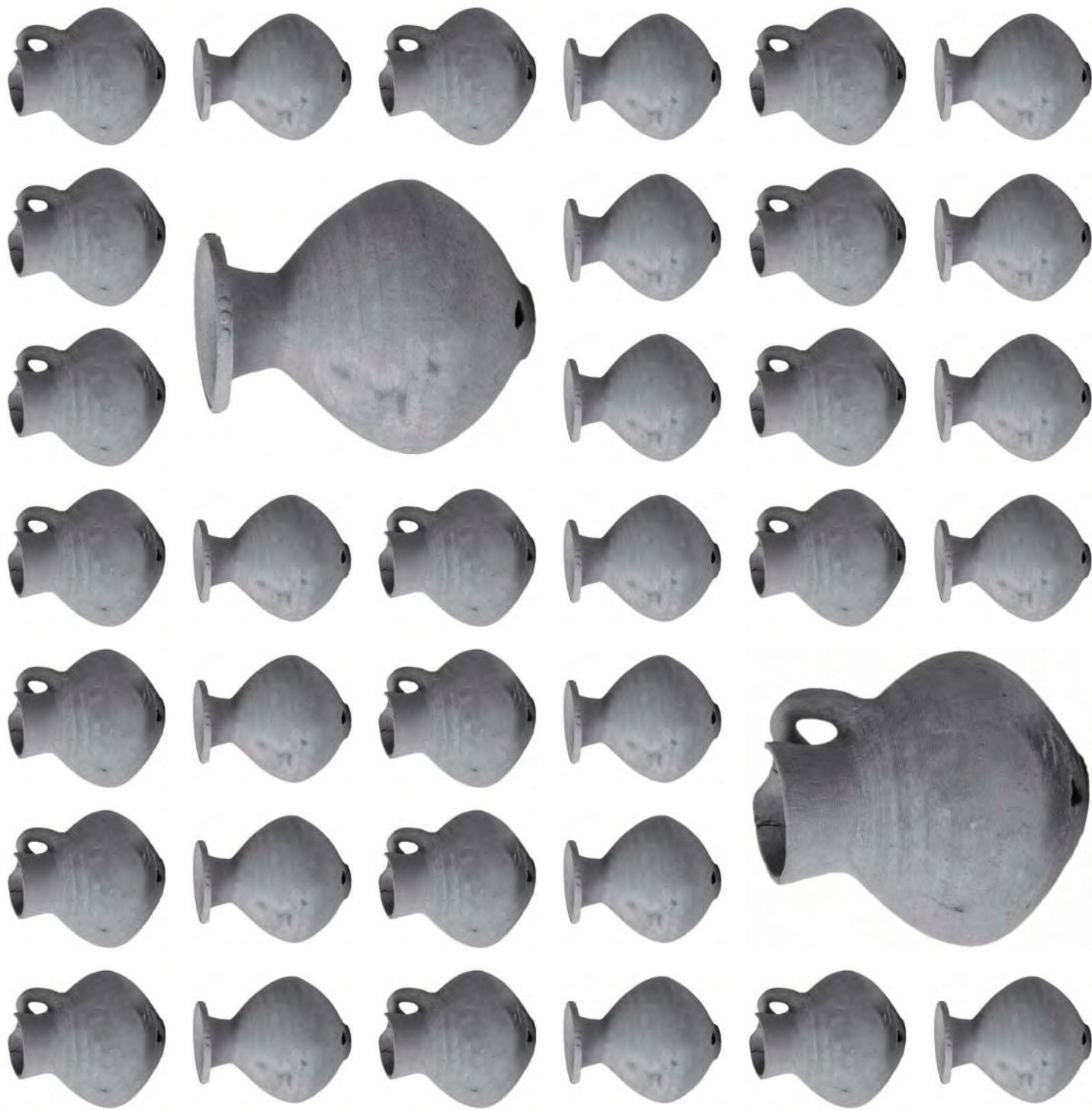
弥生文化の始まりとその広がり

日時 4月28日[土]13時30分～15時

講師 藤尾慎一郎 Shinichiro Fujio

／国立歴史民俗博物館教授

詳しくは裏面をごらんください。



水差形土器 芝遺跡 (奈良県桜井市) 出土／壺形土器 大福遺跡 (奈良県桜井市) 出土 いずれも弥生時代中期 桜井市教育委員会

講演会Ⅰ／女王・卑弥呼が使った器たち

弥生土器の造形や意匠だけでなく、纏向遺跡（奈良県桜井市）の発掘調査に携わられた経験から、弥生時代を象徴する卑弥呼や邪馬台国などについてもお話しいたできます。

日時 3月17日[土]13時30分～15時（開場は13時） **場所** 兵庫陶芸美術館 研修棟 1Fセミナー室

講師 石野博信 Hironobu Ishino / 兵庫県立考古博物館名誉館長

1933年宮城県生まれ。兵庫県教育委員会、奈良県立橿原考古学研究所副所長兼附属博物館館長、兵庫県立考古博物館館長を経て、現在、兵庫県立考古博物館名誉館長。主な著作『古墳文化出現期の研究』学生社1985年、『女王卑弥呼の祭政空間—考古学で考える邪馬台国の時代』恒星出版2002年、『邪馬台国と古墳』学生社2002年、ほか多数。

講演会Ⅱ／弥生文化の始まりとその広がり

近年発表された、弥生時代の始まりが約500年遡る、紀元前10世紀ごろとする研究成果から、新たな弥生時代像について、最新の動向をまじえてお話しいたできます。

日時 4月28日[土]13時30分～15時（開場は13時） **場所** 兵庫陶芸美術館 研修棟 1Fセミナー室

講師 藤尾慎一郎 Shinichiro Fujio / 国立歴史民俗博物館教授

1959年福岡県生まれ。九州大学文学部助手、国立歴史民俗博物館考古研究部助手を経て、現在、国立歴史民俗博物館教授。主な著作『弥生変革期の考古学』同成社2003年、『弥生文化像の新構築』吉川弘文館2013年、『弥生時代の歴史』講談社現代新書2015年、ほか多数。

◆参加申込書 | 参加希望のイベントにチェックのうえ、下記項目をご記入ください。（複数選択可）

| | | | | | | |
|-------------|-----|------|-----|-----------------|-----|----------------------|
| ふりがな お名前 | *必須 | 申込人数 | *必須 | ご住所 (市区町村まで) | *必須 | 市区 都道 府県 町村 |
| ご連絡先 | *必須 | TEL | — | E-MAIL | — | |

【講演会Ⅰ】「女王・卑弥呼が使った器たち」（石野博信氏）

【講演会Ⅱ】「弥生文化の始まりとその広がり」（藤尾慎一郎氏）

◆参加費について
参加費無料。ただし、いずれも本展観覧券（当日半券可）が必要です。

◆お申込みについて
講演会にご参加には、事前にお申込みが必要です。（いずれも定員110名）チラシ下部の参加申込書をご記入のうえ、FAXか郵送でお送りください。
※お電話または当館ホームページからもお申込みいただけます。

【お問い合わせ】
兵庫陶芸美術館
〒669-2135 篠山市今田町上立杭4
TEL 079-597-3965 / FAX 079-597-3967 / HP <http://www.mcart.jp>

◆兵庫陶芸美術館へのアクセス

- 【自動車の場合】※無料駐車場がございます。
 ・舞鶴若狹自動車道・三田西ICより約15分
 または丹南篠山口ICより約20分
 ・中国自動車道・滝野社ICより国道372号を東へ約30分
 ・阪神方面より国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分
 【JR・バスの場合】
 ・JR福知山線「相野駅」下車（大阪駅から約50分）
 駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」駅前行き
 「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き約15分、「兵庫陶芸美術館」下車
 ※「相野駅」からのタクシーもご利用いただけます。

